

精神疾患を学校教育に 県教育長に要望

島根県精神保健福祉会連合会

島根県精神保健福祉会連合会（島精連）は8月26日、島根県教育委員会の藤原孝行教育長に県内すべての中学校、高等学校で、保健教育の一環として精神疾患教育を実施してほしい、と要望しました。

要望に対し藤原教育長は「大事なことなので、要望に応じていきたい。心の健康教育については今でも保健体育の教科書に取り上げられていますが、精神疾患教育については保健体育の授業以外でも総合的な学習とか、いろいろな機会が考えられるので、どのように実施するか検討していきます」と答えました。

要望では、精神疾患教育でも統合失調症に重点を置き、早期発見、早期の対応の重要性を訴え、その知識の普及はひいては世間に根強くある偏見・差別の解消にもつながるとしました。